

防災アンケート

このアンケートは、玉川学園町内会の会員の皆さまを対象に、**無記名**でお願いしております。
尚、この防災アンケートは玉川学園町内会ホームページにも掲示いたします。

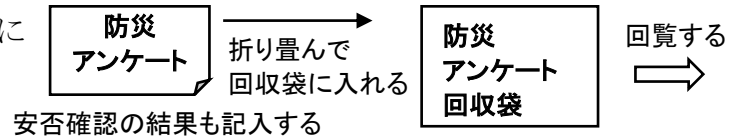
【防災アンケート質問表の記入方法】

鉛筆を使って記入してください。用意した回答の中から該当するものを選んで、□にチェックを入れるか□を○で囲って下さい。設問によっては、数字や語句を書き入れる箇所もございます。

記入例 例1: はい いいえ 例2: はい いいえ

【アンケート記入後の手順】

後日、閲覧板の防災アンケート回収袋に
防災アンケートを折り畳んで入れます。



質問番号-----アンケート-----

1. 防災アンケートを受け取る以前に「東京防災」を読んだことがありますか？
はい いいえ
 「はい」と答えた方へ
 「東京防災」に書いてあることについて家族や友人と話し合ったことがありますか？
はい いいえ

2. 「東京防災」をすぐ取り出せるところに置いてありますか？
はい いいえ

3. 自身または家族が、地域の防災訓練や防災イベントに参加したことがありますか？
 (いずれか一つ選択)
ほぼ毎年参加している 参加したことがある 参加したことがない
 参加したことがあるものを選択してください(複数選択可)。
安否確認訓練(白タオル出しなど) 避難訓練 消火器による消火訓練
スタンドパイプによる消火訓練 救出救護訓練 AED 心肺蘇生訓練
炊き出し訓練 総合防災訓練 防災講話・体験学習 避難施設開設訓練
その他の防災イベント

4. 昨年 NHK が特集したドラマ「パラレル東京 DAY1～DAY4」や体感・首都直下地震を見ましたか？
はい いいえ
 これらの特集は NHK オンデマンドで視聴できます。必見の特集です。

5. 大地震が発生したと想定して次の質問にお答えください。
 (1) 近所で火災が発生しています。あなたはどうされますか？(複数選択可)
初期消火を手伝う 手伝う仲間を呼び集める スタンドパイプを手配する
119 番通報 消防が来るまで待つ 逃げる なにもしない
 (2) 家具が転倒し家族が下敷きになっています。あなたはどうされますか？(複数選択可)
家族を助け出す 近所の人に助けを求める 119 番通報
救助隊が来るまで待つ 家族や同居人がいない
 (3) 揺れがおさまり、家族や自宅も無事です。あなたはどうされますか？(複数選択可)
近所の様子をみる 近隣の方の安否を確認する ラジオなどで地震情報を収集する
自宅にとどまる 一時集合場所(公園など)に行く 避難所(避難施設)に行く
 (4) 自宅が倒壊または焼失して自宅に住む事が出来ません。あなたはどうされますか？尚、震災時の一定期間、主要道路は緊急車両以外の車の通行が禁止されています。(いずれか一つ選択)
自宅の敷地でテントや自動車に寝泊まりする 避難所(避難施設)に避難する
近くの親戚や友人宅に避難する 決めかねている わからない

- (5) 避難する時にペットを同行しますか？(いずれか一つ選択)
 ペットはいない 同行する 同行せず、家や敷地に置いておく
 ペットと共に自宅にいる
- (6) お住いの地域の一時集合場所がどこにあるかご存知ですか？
 はい いいえ
 一時集合場所は、当地域で震度 6 弱以上の地震が発生した時に、地域住民が集まる公園や広場です。地域の自主防災隊が配付した防災マップに明記されています。避難施設に避難する時は、一旦、この一時集合場所に集合してから避難施設に移動します。その多くには防災倉庫が設置されていて、消火用のスタンドパイプセット、救出用の機材、救急セットなどが保管されています。
- (7) お住いの地域の避難施設(避難所)がどこにあるかご存知ですか？
 はい いいえ
 この地域では、小学校の学区ごとに避難施設が決められています。この地域では市立の小学校・中学校が避難施設に指定されています。地域の自主防災隊が配付した防災マップに明記されています。震災時の避難施設の開設と初期の運営は町田市指定職員、学校の施設管理者(校長)、関係する自主防災組織(複数)の有志が共同で行います。この地域の自主防災組織は、町内会・自治会を母体に組織されています。当地域では、玉川学園町内会を母体とする 8 つの地区自主防災隊が活動しています。
- (8) 震災時の避難施設の運営は長期におよぶことが想定されます。運営が長期化したときは、だれが運営することになると思いますか？(いずれか一つ選択)
 町田市職員 学校関係者 自主防災組織関係者 避難者(自治)
 避難施設は共同生活が基本です。開設も運営も避難者の参加が前提です。施設内の掃除、トイレの掃除、ゴミの処理、水や物資の運搬、食事の用意、防犯・防火パトロールなどはすべて避難者が当番で行います。居住スペースは狭く、定期的に配置替えが行われます。プライバシーはほぼありません。室内にペットを持ち込むことはできません。在宅避難がお勧めです。在宅避難とは震災時に自宅で生活することです。大きなケガをしないこと、家屋の耐震化、家具の転倒防止、生活に必要な水・食糧・生活物資の備蓄などが必要とされます。
6. 自身も含めて家族の中で避難するときに手助けが必要な方はいらっしゃいますか？
 全員自力で避難できる 手助けを必要とする人がいる
 「手助けを必要とする人がいる」と答えた方へ
 手助けを必要とする人は何人いらっしゃいますか？ _____人
7. 大震災などで、自宅の水・食料を使い切った方のために市立の小学校・中学校に開設される避難施設(避難所)で、水・食糧などの配給が行われます。必要とされる方は、避難施設まで行かなければなりません。あなたの家では避難施設まで水・食糧などを徒歩などで受け取りに行くことができますか？尚、震災時の一定期間、主要道路は緊急車両以外の車の通行が禁止されています。
 はい いいえ
 「いいえ」と答えた方へ
 その理由をお聞かせください。(複数選択可)
 歩けないから 荷物を持って歩けないから 場所が分からないから
 怖いから その他(理由をお書きください。_____)
8. 町田市が発行したハザードマップをご覧になったことはありますか？(いずれか一つ選択)
 見たことはない 知ってはいるが見たことはない 洪水ハザードマップは見たことがある
 土砂災害ハザードマップは見たことがある 両方見たことがある
 当地域にも氾濫想定地域や土砂災害警戒区域・特別警戒地域があります。ハザードマップで確認しましょう。ハザードマップの入手は、「町田市 ハザードマップ」でネット検索してダウンロードするか、町田市防災安全部防災課 042-724-2107 に問い合わせてください。

9. あなたの住む家は昭和 56 年(1981 年)5 月 31 日以前に建てられた住宅ですか？
はい いいえ
 「はい」と答えた方へ
 家屋の耐震工事を実施していますか？
はい いいえ
10. 地震に備えて家具などの配置替え、転倒・移動・落下の防止を行っていますか？(いずれか一つ選択)
すべての部屋で行っている 普段使う部屋(居間、寝室、子供部屋、台所など)は行っている
ほとんど行っていない 作り付け家具なので行っていない まったく行っていない
11. 自宅に消火器を備えていますか？
はい いいえ
 「はい」と答えた方へ
 消火器には「設計標準使用期限」が明記されています。毎年、使用期限の確認や外観(腐食(サビ)、キズ、変形など)の確認を行っていますか？
はい いいえ
 (注意)使用期限切れや腐食(サビ)、キズ、変形などがある消火器は速やかに交換しましょう。破裂事故の危険があります。
12. 災害に備えて食料(食糧)の備蓄を行っていますか？
はい いいえ
 「はい」と答えた方へ
 食料(食糧)の備蓄は、_____日分
 食糧(食糧)の備蓄はローリングストック(「東京防災」では日常備蓄と呼んでいる)がお勧めです。普段使う食材を多めに買って置いて、古いものから使い、使った分を補充していく方法です。
13. 災害に備えて水の備蓄を行っていますか？
はい いいえ
 「はい」と答えた方へ
 水の備蓄は一人 1 日 3 リットルが目安です。下記の計算を行ってください。
 同居家族の人数_____人 × 3 = _____リットル(1 日に必要とする水の量)
 この計算結果を参考に、あなたの家では何日分の水を備蓄していますか？
 水の備蓄は、_____日分
 水の備蓄は最低でも 1 週間分は備蓄しておきましょう。水もローリングストックで無駄を無くせます。
14. 災害に備えて非常用持ち出し袋を準備していますか？
はい いいえ
 「はい」と答えた方へ
 非常用持ち出し袋の置き場所は、家族全員が知っていますか？
はい いいえ
 定期的に中身の点検(使用期限の確認、動作確認など)を行っていますか？
はい いいえ
 非常用持ち出し袋などに入れておくものは、「東京防災」に記載されています。
15. 災害に備えて普段お使いの薬を、常に、1 ヶ月分以上お持ちですか？
はい いいえ
 持病などの薬は、医師や薬剤師に相談して 1 ヶ月分余分に持つようにしましょう。
16. ご自宅に災害時(停電時)に使える非常用電源はありますか？(複数選択可)。
なし 発電機(ガソリン、ガス) 太陽光発電システム 給電機能付き自動車
その他の発電機 大容量蓄電池

17. ご自宅に災害時に使える加熱手段はありますか？(複数選択可)
なし カセットコンロ／カセットボンベ 上記の電源／電気コンロなど
プロパンガス／ガスコンロ 加熱パック(モアリアンヒートパック、ホットイトなど)
その他の加熱手段(いろり、七輪、バーベキューコンロ、薪ストーブなど)／燃料
18. 災害時などの対応として、家族(同居人)間で、お互いの連絡手段、落ち合う場所、避難場所などについて取り決めてありますか？(いずれか一つ選択)
はい 家族(同居人)がいない いいえ
 家族で災害時伝言ダイヤル(171)の活用を検討してください。
19. 災害時に下水道管の破損などでトイレが使えないことがあります(無理に流すと逆流してくる)。そのような時に備えて簡易トイレや携帯トイレを備蓄していますか？
はい いいえ
 携帯トイレ(袋と凝固剤などがセット)は自宅の洋式トイレや簡易トイレに取り付けて使用します。携帯トイレは一回ごとの使い捨てです。下水道管の復旧には日数がかかります。家族全員の1日当たりのトイレ利用回数を計って必要数を把握して、最低でも1週間分を備蓄しましょう。
20. 大地震などの災害発生時に、あなたの安否を確認する方がいらっしゃいますか？
はい いいえ
 「はい」と答えた方へ
 その方はどなたですか？(複数選択可)
家族(含む同居人) ご近所にお住いの方(友人・知人・親戚)
町内会や自主防災隊の方 介護施設の方 その他
 「家族(含む同居人)」を選択された方へ
 その方は通勤や通学などで不在となる時がありますか？
はい いいえ
21. ご自身やご家族に、避難所(避難施設)の開設・運営やマニュアル作りに助勢していただける専門的な経験、資格をお持ちの方はいらっしゃいますか？(複数選択可)
 尚、ご支援や助勢は義務ではありません。
医師・歯科医師 看護師 助産師 薬剤師 保育士 介護福祉士
公認心理師 臨床心理士 メンタルケア心理士 介護福祉士実務者研修
介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級) 建築士 電気主任技術者
電気工事士 防災士 アマチュア無線技士 その他()
 震災用の避難所の開設・運営マニュアルは地域の事情を反映させるため避難所ごとに作成します。
22. 防災活動に対するご意見、ご要望、ご質問がありましたらご自由にお書きください。今後の防災活動の参考といたします。ご質問については、町内会だよりの「防災コーナー」で回答してまいります。

-----安否確認訓練-----安否確認(白いタオル出し)の結果などをご記入ください-----

タオルが出ていなかったお宅はありましたか？	ご近所に空き家や長期不在と思われるお宅はありますか？
<input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった 何軒でしたか？__軒	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない 何軒ですか？__軒

問いの中の軒数は分からなければ書かなくてもかまいません。

震災時の救出は一刻をあらそう活動です。実際の安否確認では、声掛け、ドアや窓を叩く、確認のために窓から覗き込む、場合によっては室内に入って捜索するなど時間のかかる活動です。素早い救出活動に繋げるために、白いタオルが出ているお宅、空き家、長期不在のお宅の安否確認をスキップして安否確認の効率をあげる必要があります。

安否確認訓練および防災アンケートにご協力いただきまして ありがとうございます